

NHO研究ネットワークグループの 活動とNHOブランディングへの貢献 —がん（呼吸器）グループについて—

岡本 龍郎[†]第76回国立病院総合医学会
2022年10月8日 於 熊本

IRYO Vol. 77 No. 5 (318–323) 2023

要旨

がん（呼吸器）グループは、国際病院機構（NHO）研究ネットワーク基盤において、現在49施設、93名のメンバーが臨床研究活動を行っている。2012年によりNHO九州がんセンター呼吸器腫瘍科が「がん（呼吸器）グループ」のグループリーダー施設となり、研究の取りまとめを担ってきた。がん（呼吸器）グループの主な活動内容としては、1）NHOネットワークにおける研究課題の遂行、2）年2回のグループ会議におけるネットワークグループ課題の検討、3）インターグループ研究への参加、などがある。2013年以降に採択されネットワーク共同研究の中から、計4本の英文論文を公表しており、これらの研究はすべて高齢者肺癌を対象にした前向き試験の結果であった。コロナ禍の直近3年間の課題応募数は減少しており、その原因を探るため、グループメンバーを対象としたアンケート調査を行った。その結果、新規臨床研究を立案・遂行するための支援体制の強化が、今後の研究課題数増加に必要であることが示唆された。

キーワード 肺癌、臨床研究、高齢者

はじめに

肺癌はいまだに難治性がんの1つであり、本邦におけるがん死亡のトップを約30年にわたり継続している¹⁾。肺癌医療をさらに向上させるためには、多施設共同の臨床研究が不可欠であることはいうまでもない。「がん（呼吸器）グループ」は、国立病院機構（NHO）研究ネットワーク基盤において、活発な臨床研究活動を行ってきた。現在までのグループ

の活動を紹介するとともに、メンバーへのアンケートを通して現在の問題点をピックアップした。

がん（呼吸器）グループの構成

2012年よりNHO九州がんセンター呼吸器腫瘍科が「がん（呼吸器）グループ」のグループリーダー施設となり、研究の取りまとめを担ってきた。2022年までの10年間で、がん（呼吸器）グループは肺癌

国立病院機構別府医療センター 臨床研究部 [†]医師
著者連絡先：岡本龍郎 国立病院機構別府医療センター 臨床研究部長
〒874-0011 大分県別府市大字内竈1473番地
e-mail : tatsurokam@gmail.com

(2023年4月5日受付 2023年8月4日受理)

Activity of the NHO Research Network Group and Its Contribution to the Branding of NHO: Thoracic Oncology Group
Tatsuro Okamoto

NHO Beppu Medical Center

(Received Apr. 5, 2023, Accepted Aug. 4, 2023)

Keywords : lung cancer, clinical research, elderly